

遊歩一景

蔵王山 (千田・蔵王学区)



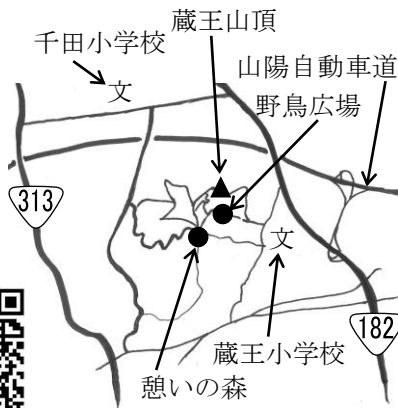
元旦の
山頂照らすご来光
心機新たに
スマホでパチリ

蔵王山は、福山市のほぼ中心部に位置し、毎年元旦には周囲の学区が新春登山を行っています。

北側の千田学区は、1959年（昭和34年）1月1日から新春登山を実施しています。雨や雪の他、コロナ禍の年は中止しましたが、今年度で64回目になります。約500人の参加者は、朝7時に集合場所を出発し標高225mの山頂を目指して歩きます。

南側の蔵王学区は、蔵王小学校を出発し、「野鳥広場」を経由して「憩いの森」を目的地に歩いています。

蔵王山は、古くから寺社が建立され信仰の場所として修験者が訪れました。また、南斜面には自然石の絶壁があり、クライミングを楽しむ人が訪れています。中腹の憩いの森には遊具があり家族連れなどが訪れるなど、市民から親しまれています。



他の写真・資料 ⇒



東部いれこみ情報

学習情報紙
No.268
1月号

2024年(令和6年)1月4日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・QRコード



YouTube・トーチューブ

蔵王学区自主防災避難訓練

11月26日に、蔵王小学校で蔵王学区自主防災避難訓練が開催されました。



今年度は、県市行政や業者の協力があり、普段よりも多く

〈緊急車両の展示〉

の訓練や体験が行われました。そこで、訓練の様子を取材し動画で紹介します。

●配信 **1月1日(月)** 0時0分～

●動画サイト **YouTube**

●チャンネル **TouTube.F**

●問合せ先 **東部地域振興課**

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



桜坂ギャラリー 企画展

「手話でつながる」 ～手話をもっと身近に～

●期間 **1月12日(金)～31日(水)**

●場所 **東部市民センター
2階 ロビー**

手話は、耳が聞こえない人にとってお互いの気持ちや考えを伝えるための大切な「言葉」です。手話の表現を覚えて、生活の中で使えるようになれば、コミュニケーションの輪が広がります。今回はパネル展示と併せて、日常のいろいろな場面で使える手話を職員によるオリジナルの映像でもご紹介します。

主催・申込先 **東部地域振興課**

電話 **084-940-2574**

FAX **084-947-5658**

「高めあう 人権感覚 確かな未来」

とんどまつり ～かえってきた賑わい～

コロナ禍では、地域で集まっていた行事を自粛していましたが、今年度は夏祭りや文化祭、フェスティバルなど、各学区で様々な行事が再開しています。

1月は、とんどまつりが行われる学区がありますので紹介します。

お餅やぜんざいなどの振る舞いや、健

康ウォーキングやマラソン大会などを同時開催する学区もあります。

また、学区全体ではなく、単位町内会、自治会や地域で開催する学区もあります。

詳しくは各学区の交流館にお問い合わせください。



学区	日時	場所	同日関連行事
引野	1月13日(土) 9:30～	引野小学校グラウンド	
旭丘	1月21日(日) 10:00～	旭丘倶楽部(旧旭丘幼稚園)園庭	
緑丘	1月13日(土) 9:30～	緑丘小学校グラウンド	
長浜	1月13日(土) 9:30～	長浜小学校グラウンド	
千田	1月8日(月) 9:00～	千田運動場(千塚池グラウンド)	
大津野	1月8日(月) 10:15～	大門未来園北側広場	健脚大会
野々浜	1月8日(月) 10:00～	旭北公園	歩け歩け・マラソン大会
春日	1月7日(日) 9:30～	春日小学校グラウンド	
坪生	1月7日(日) 9:00～	坪生小学校グラウンド	健康ウォーキング
幕山	1月14日(日) 10:00～	幕山台中央公園	まくやま朝市
大谷台	1月14日(日) 10:00～	大谷台中央公園	

平和の思いを伝えたい

～幸千中学校の活動～

幸千中学校では、平和の大切さを学び、学んだことをアピールする活動を行っています。

ホロコースト記念館で平和の大切さ学ぶ

きっかけは、生徒会が校区内にあるホロコースト記念館を訪ねたこと。ヨーロッパで起きた戦争やホロコーストについて学びました。学んだことを学校で伝え、全校生徒が記念館を訪ね、平和について考え合うようになりました。

学びから行動へ

現在は、学んだことを次の人に伝える活動に取り組んでいます。

文化委員会は、記念館でばらの接ぎ木を学び、「アンネのばら」を育てています。育てた苗は、交流館など近隣の施設に贈りました。

美術部は、記念館の大塚館長が作った台本「アンネのバラとローズマインド」に合わせたイラストを作成。市内の各施設でパネル展示を行っ



〈話を伺った生徒会副会長の柳川稜空さんと山本先生〉

ています。

吹奏楽部は、曲「アンネの希望」を定番曲として演奏。また、ボランティア部の地域貢献班は平和にちなんだ踊りを地域のイベントなどで踊りました。

生徒会執行部は、幸千中学校の活動やホロコースト記念館を紹介する資料を作成し、文化祭や地域のイベントで発表。市民に平和の大切さを訴えています。

生徒会副会長の柳川稜空さんは、「この取組を通して、多くの人に平和の思いを広めたい」と話しました。

東部管内イベント・講座情報

緑丘交流館

Zoomでレクリエーション

【日 時】1月16日(火)

14時～16時

【講 師】東部地域振興課職員

【内 容】Web会議用アプリ『Zoom』を使って、実際にオンラインでのやり取りを体験します。

【定 員】15人程度

【持参物】スマートフォン(タブレット、パソコンでも可)

【申し込み期限】1月9日(火)

【会場・申し込み・問い合わせ先】

緑丘交流館 084-943-5495

幕山交流館

幕山デジタル塾

～交流館のイベントにスマホで参加しよう～

【日 時】1月25日(木)

13時30分～15時30分

【内 容】交流館のサークル活動にスマホで参加します。(自宅からでもOK)

【定 員】30人

【持参物】スマートフォン

【協 力】コーラスサークル「ラララ♪幕山」
東部地域振興課職員

【会場・申し込み・問い合わせ先】

幕山交流館 084-947-0095



イラストデザイン 英数学館高等学校 藪田真子さん

ステージ発表

作品展示

まちづくり博覧会

キッズコーナー

カフェコーナー

バザール出店

ふくやま東部文化フェスタ2024

東部からローズマインド

～笑顔の花を咲かせよう～

3月

3日

(日)

9:30～

会場

東部市民センター



東部地域振興課キャラクター
プロツサムちゃん!

《主催》ふくやま東部文化フェスタ実行委員会

《問い合わせ》東部地域振興課 TEL084-940-2574

春日コミュニティ館

多文化教室 なないろ

【日 時】1月11日・18日・25日

毎週木曜日10時～11時30分

【内 容】国籍や年齢に関係なく、だれでも参加できます。人と人のつながりを大切にしながら、困ったときは「お互いさま」の気持ちで住みよいまちをつくっていきませんか。

【持参物】筆記用具・勉強したいもの

※初めて参加される方は連絡してください。

【会場・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

東部図書館からのお知らせ

移動文学展「島田荘司とミステリーの世界へ」

【期間】1月17日(水)～2月28日(水)

【会場】東部図書館 1階フロアー

サロンコンサート

【日時】1月23日(火)14時～14時30分

【会場】東部図書館 2階集会室

【内容】尺八と琴の演奏

【出演】加絃会

【申し込み・問い合わせ先】

東部図書館 084-940-2575

「育児」は誰がするもの？

2020年度、福山市内の男性の育児休暇取得率は11.7%と未だに低い状況にあります。社会全体では、個人の考え方やライフスタイルの多様性を認め合うことの重要性が認識されている中で、まだまだ「男性は仕事」「女性は育児」という固定的な考えが残っていることも事実です。

男性の育児取得の意義とは

今年度、東部地域振興課では男性職員が育児休暇を取得しました。育児休暇を取得した職員からは「子どもたちの成長を毎日見ることができて良かったのはもちろんのこと、育児や家事を『手伝う』のではなく、当事者意識を持ち取り組むことの大切さを改めて感じる事ができた。家族との

絆がより深まった。」と振り返っていました。

男性の育休があたりまえの社会に

育児は性別に関係なく、みんなで取り組むものです。社会全体の協力と「育児はみんなで取り組み、その大切さ、素晴らしさ、大変さはみんなで分かち合うもの」という考えがもっと広まれば、男性の育児休暇取得が当たり前の社会となり、多様性を認め合う社会の実現に、またひとつ近づくことができるのではないのでしょうか。

「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。

人権問題講演会を開催

12月9日に東部市民センターのホールで角田寛和さん、通称「ちょんまげ隊長ツンさん」をお招きし人権問題講演会を開催しました。角田さんは、災害の被災地支援、スポーツを通しての障がい者支援、エチオピア・ネパールの貧困地域の支援活動を行っています。



きっかけは、2011年の東日本大震災。連日テレビで被災地の映像を見て、自分にも何かできないかと思ったことだそうです。靴屋をしているので靴の寄付ができると思い、靴を持って被災地に向かいました。活動の中で、「被災生活で我慢

している子どもたちに楽しい体験をさせたい」と思い、渡航費用の寄付を募り3大会連続でサッカーのワールドカップに招待しました。

2022年のカタール大会では、客席のゴミ拾いをし、現地の人から感謝を伝えられました。これが、日本人のマナーとしてメディアでも取りあげられました。

角田さんは、「ボランティアは重労働で辛いと思われがちだが、人とのつながりなど楽しいことも沢山ある。続ける秘訣は、無理をせずできる時にやる『断続(だんぞく)は力』が大切」「何事に対しても無関心ではいけない、まずは自分でできる範囲でいいので行動を起こしてほしい」と話されました。

新しい年を迎えました。皆さま、年末年始はゆっくりと身体を休めることができましたでしょうか。様々な地域行事や事業が復活した昨年は、どの会場も多くの住民が集まり久しぶりの行事を楽しんでいる姿を目にするのができました。私が住んでいる学区でも、4年振りに行事を実施しましたが、役員も変わり、何を準備すればいいのかわかり出すことが困難な状態になってしまふという課題が発生しました。この課題を解決するためには、役員だけではなく地域の多くの人が行事に関わってもらえれば良いのではないかと思えました。できることや得意なことを、できる人がすることや、これまで参加していない住民も含めた地域みんなで「まちづくり」を進めていくことができるのではないのでしょうか。

現在、「話し合い」から始めるまちづくりを、市だけではなく、福祉協議会やまちづくりサポーターセンターが支援をしています。これから、ずっと住み続けたい地域をつくるために、そこに住んでいる人だけでなく、例えば、学校や企業やNPO法人等も一緒に話し合いをする中で、さらに自分たちのまをよくなるアイデアが浮かんでくるかもしれません。

「話し合い」始めてみませんか？

桜のさくらやき

